

【会議録（書面会議）】

会 議 名	令和2年度 第1回3R推進行動会議
開 催 日	令和2年7月 2日（木） 会議開催通知及び資料送付 令和2年7月 20日（月） 委員からの調査票集約 令和2年8月 4日（火） 結果通知
開 催 場 所	書面会議により開催
委 員	鬼沢座長、猿子委員、石川委員、木原委員、櫻林委員、関根委員、山田委員、大駒委員、荒井委員、石曾根委員、島村委員、中林委員、西川委員、茂木委員、重富委員
事 務 局	環境リサイクル支援部 みなとリサイクル清掃事務所
会 議 次 第	<p>[検討事項] ※調査票での回答を依頼</p> <p>1 リユース♡ブリッジの開催について（案）【資料1】</p> <p>2 海洋プラスチック問題パネル展・イベントについて（案）【資料2】</p> <p>3 来年度の3R推進事業について（案）【資料3】</p> <p>[報告事項]</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症による3R推進事業への影響について【資料4】</p> <p>2 令和2年度「みんなと3R」SNSの更新について【資料5】</p> <p>3 スマートバッグの送付について</p>
送 付 資 料	<p>資料1 リユース♡ブリッジ開催概要（案）</p> <p>資料2 海洋プラスチック問題パネル展について</p> <p>資料3 来年度の3R推進事業について</p> <p>資料4 新型コロナウイルス感染症による3R推進事業への影響について</p> <p>資料5 令和2年度「みんなと3R」SNSの更新について</p> <p>別 紙 3R推進事業 調査票</p> <p>参 考 3R推進行動会議設置要領</p> <p>参 考 3R推進行動会議委員名簿</p>
会議の結果及び主要な意見	
	<p>[検討事項]</p> <p>1 リユース♡ブリッジの開催について（案）</p> <p>【今年度の開催を検討するにあたっての主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスク着用をお願いする。 ・サイズを確認するためには、衣類等に触らないことは難しい。 大人用手袋を配付するなどの対応をしてはどうか。 ・消毒液を設置する。 ・衣類等は目で選べるよう、サイズ（素材）等を透明な袋に入れて表示する。 ・定員を少なくする。2回に分けて開催。 ・マスク、換気、検温、密にならない工夫など、あらゆる感染防止策をとる。 ・（可能であれば）検温実施。 ・すべて事前申込制にする。

【今後の事業開催にあたっての主な意見】

- ・少しでも広い会場で開催し、定員をあまり少なくしない。
この事業は人気があるので、なるべく希望者には参加していただくように。
- ・新型コロナウイルスの収束には、時間がかかりそうだが、例年好評なイベントであり、しっかりとした対策を取ったうえで実施してほしい。
子育て世代を中心に人が集まるイベントなので、他の企画も同時に開催しても良いかもしれない。
- ・開催施設について：芝浦港南地域は、小さな子どものいる家族が多く住んでいるようなので、近いところがよいと思う。
- ・小中学生中心のフリーマーケットを、みなとパーク芝浦フェスティバル（3/6予定）の日に、公園にお店を出してもらおう。
- ・開催は、2回とも同じ場所がよい。
- ・時期は衣替えの頃。
- ・オンラインを活用し、非接触で実施できないか。
- ・当日も3R取り組みの周知。（パネル展示、チラシ配布など）
- ・このイベントの趣旨は、「交換会」となっており、品物を持ち帰るためには、自身も1点以上の持ち込みが必須となっている。
コロナの影響もあり、貧困に直面しているご家庭には、必ずしも「交換」を原則としなくてもよいかもしれない。
例えば、このイベントはこのままの形で継続しつつ、派生版として「子ども食堂」や子育てプラザなどにリユースしてもらえよう衣類を届ける仕組みの追加も、SDGsの課題解決につながって良いのでは、と思う。

2 海洋プラスチック問題パネル展・イベントについて（案）

【展示パネルの内容についての主な意見】

- ・各企業が海洋プラスチック問題にどう取り組んでいるか知りたい。
- ・麻布清掃協会で、レジ袋再利用のパネルを新しく作ったので、パネル展示をお願いしたい。
- ・プラスチックを使わない暮らしの見本となる先進的な取り組みの例。
- ・従前の一人当たりのプラスチック利用量の例と工夫した（削減した）場合の利用量の比較。
- ・プラスチック回収に、港区は早くから力をいれているというパネル。
- ・廃プラスチック回収で汚れが取れていればOKということをアピールするパネル。
- ・3Rの取り組み全て。（SNSのPRも積極的に）
- ・レジ袋有料化の対応。
- ・場所を2か所くらいにし、パネル展を開催し、区民の方に知っていただければと思う。
- ・企業の具体的な取り組み事例の紹介。
- ・生分解性プラスチックとバイオプラスチック等を理解している人は少ないと思うので、両者をわかりやすく説明したパネル。
- ・マイクロプラスチック実態調査の様子。（「アルバトロス」を用いた港区での採取の様子（写真））や、採取されたマイクロプラスチックの写真。

- ・パネルの最終ページに「ごみ拾い・ごみの散乱防止」を追加。
- ・ピリカSNSの紹介。

【展示物についての主な意見】

- ・アサヒビールの森のタンブラーのパネル（ポスター・現品等）
個人、家庭でできるリユースの習慣づけになるため。
- ・「海洋プラスチックについて考えてみよう」チラシ等の展示を根気よく続けるしかない。
- ・小売店や飲食店等の事業者を対象としたセミナー（先進的な取り組みをしている事業者の紹介等）
- ・ペットボトル飲料水に、マイクロプラスチックが混入していることをわかりやすく表示。
- ・マイボトル持参を勧める展示を。
- ・3Rから4R（+Repair）に取り組む方向へ。
- ・海岸に落ちている現物を並べる。
- ・マイクロプラスチックのサンプル（実物）とアップにした写真のパネル。
- ・マイクロプラスチック採取装置（実物）の展示。

【啓発イベントについての主な意見】

- ・とにかく、海洋プラスチック問題で、いかにプラスチックごみを捨ててはいけないことを周知させる努力をしたい。
- ・海洋生物がプラスチック被害にあっている写真をグリーンピース他から借りて展示写真で伝えるのはインパクト大なので。
- ・太平洋のど真ん中で海洋プラスチック調査した時の拾ったプラの写真などを展示。
- ・えっ！このような物が作れるとは？というものを展示する。
現物のシャツ、文具類などをパネルに吊るす。（立体的に）
- ・ビニール袋等、プラスチック製品について、自然に還る素材の普及を図ることができないか？（企業への協力依頼含め）
- ・展示は広い場所でゆったりしたスペースで行えばと思う。「3密」に気をつけていく。
- ・港区内におけるマイクロプラスチック流出実態調査の動画制作やガイドブック制作、ワークショップの実施など。
- ・海洋へのごみ流出抑止のためのごみ拾い活動、ごみの散乱防止の呼びかけ。（ピリカSNSを活用した密にならないごみ拾い活動）

3 来年度の3R推進事業について（案）

【来年度の事業内容について主な意見】

- ・15分以内の動画を作成し、アップする。見た人が転送できるようにして拡散。
動画はシリーズにして、海ごみ、食ロス、古紙リサイクルなど。
- ・3密のことを考えると、どの計画も難しいが、参加者を減らして、広い会場を確保することが大事だと思う。
- ・エコ料理動画等、食品ロスに関する動画作成。
- ・3R+R（リペアー）を勧める。包丁研ぎ、まな板削りなどを消費者センターと消費者団体連絡会共催で開いているとき、とても好評だった。

- ・リペアーすれば、まだ使える、ということを実習などで広めていきたい。
- ・動画作成は良いと思う。
- ・ちいばすでも流せるか。
- ・みなとケーブル等に協力を依頼してはどうか。
- ・動画作成、YouTube、webサイトでの情報発信。
- ・インフルエンサーによる情報発信（港区観光大使、港区出身の著名人、大学の学生など）
 - ・「みなと3R」SNSによる情報発信を多くして、3R推進事業を知らせていく。
- ・webセミナーの実施
- ・リデュース、リサイクル、リユースの3Rに、リフューズ（ごみを減らすために断る）をプラスして、4Rにしてはどうか。レジ袋をもらわないなどの取り組み。
- ・オンライン会議の活用。（オンライン会議に慣れている方、参加可能な方はオンラインにて参加、オンラインに慣れていない方、参加不可な方は、リアルで参加。＝三密回避）

（今後について）

調査票集計結果をもとに、事務局で事業内容を具体的に検討する。